

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 26 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	地域文化活動育成事業費補助金			
担当課係名	市民会館	課	係	作成者 新田康久
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備		
	主要施策	社会教育施設の充実		95
予算費目	一般	会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費 10 目 市民会館費
事業期間	平成	年度	～ 平成	年度 新規/継続の区分 継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等				
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input checked="" type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市内の芸術・文化団体
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	非営利団体が市民の芸術文化向上のために多彩な催しものを開催できるよう自治体からの支援をする。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	非営利団体が市民の芸術文化向上のため実施する事業に対し補助金を交付する。

【事務事業の推移】

		項 目	単位	25年度実績	26年度実績	
効果	活動指標	補助団体数	目標	回	1	1
			実績	回	1	1
			達成度		100.0%	100.0%
	成果指標	催物開催回数	目標	項目	1	1
			実績	項目	1	1
			達成度		100.0%	100.0%
投下コスト	項 目		総事業費	25年度決算額(千円)	26年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)			200	200	
	人 件 費 (B)		—	41	43	
	職 員 数		—	0.01	0.01	
	職員平均人件費		—	8,192	8,540	
	(A)+(B) 投下コスト		—	241	243	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源			241	243
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	241,000	243,000	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	8	9	

【事務事業の今までの成果】

一度は活動を停止していたたざわこ音楽祭を復活、装いも新たに活動をしている。復活後10年以上継続して音楽祭が実施されている。市内音楽家にとって地元を知っていただく良い機会となっており、故本田武久氏と、ha-jのコンビによる佳曲「すずかけの道」誕生のきっかけとなり、国文祭での活躍の土台を形成した成果も大きい。これらを土台に国文祭県民参加事業としても実施されたミュージカル作品の企画・制作に至っている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	劇場法の制定など文化を強化する動きはあるが財政的な基盤がまだまだ整っていない。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	実施団体からは活動の基盤として補助継続を依頼されている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
B 2	A 現状のまま継続（実施）	活動現場としての市民会館は利用者と一体化して良い芸術文化を創造する場であり、それを評価して補助金の審査を担う立場であることとそぐわないと考えられる。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

アートプロジェクトのような包括的な審査システムを持つ同様の趣旨の制度に統合されたほうが公平性も確保できて適切と思われる。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B 2	市民会館ホールの広さから利用範囲も限定されてしまう。ホール利用の小さなコンサートなどを開けるようにすれば、補助金活用も広がり活性化につなげることもできるのではないかと。

